

みずほCustomer Desk Report 2024/12/11 号(As of 2024/12/10)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	151.55
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	151.39	1.0553	159.75	1.2749	0.6437
SYD-NY High	152.18	1.0568	160.02	1.2777	0.6443
SYD-NY Low	150.90	1.0499	159.41	1.2725	0.6366
NY 5:00 PM	151.98	1.0528	159.95	1.2772	0.6378
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,247.83	▲ 154.10	日本2年債	0.5800%	0.0100%
NASDAQ	19,687.24	▲ 49.45	日本10年債	1.0600%	0.0200%
S&P	6,034.91	▲ 17.94	米国2年債	4.1451%	0.0186%
日経平均	39,367.58	207.08	米国5年債	4.0976%	0.0227%
TOPIX	2,741.41	6.85	米国10年債	4.2273%	0.0271%
シカゴ日経先物	39,320.00	5.00	独10年債	2.1160%	▲0.0015%
ロンドンFT	8,280.36	▲ 71.72	英10年債	4.3220%	0.0515%
DAX	20,329.16	▲ 16.80	豪10年債	4.2190%	0.0000%
ハンセン指数	20,311.28	▲ 102.81	USDJPY 1M Vol	10.68%	▲0.18%
上海総合	3,422.66	20.13	USDJPY 3M Vol	10.64%	▲0.21%
NY金	2,718.40	32.60	USDJPY 6M Vol	10.31%	▲0.07%
WTI	68.59	0.22	USDJPY 1M 25RR	▲1.23%	Yen Call Over
CRB指数	290.47	1.41	EURJPY 3M Vol	10.53%	▲0.17%
ドルインデックス	106.40	0.25	EURJPY 6M Vol	10.39%	0.05%

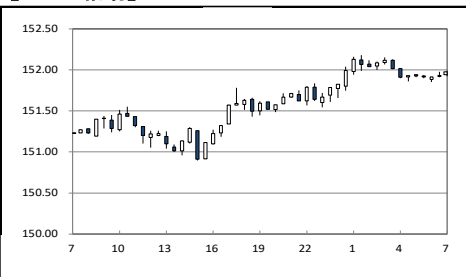
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月10日	09:30	豪 NAB企業信頼感	11月 -3	-
	09:30	豪 NAB企業景況感	11月 2	-
	12:06	中 輸出/輸入(前年比)	11月 6.7%/-3.9%	8.7%/0.9%
	12:06	中 貿易収支	11月 \$97.44b	\$93.50b
	12:30	豪 RBAキャシュレート	10-Dec 4.35%	4.35%
	16:00	独 CPI(前年比/前月比)・確報	11月 2.2%/-0.2%	2.2%/-0.2%

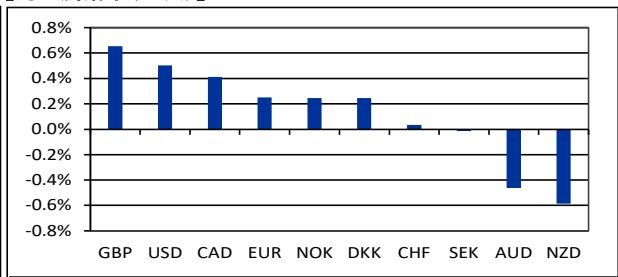
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月11日	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	11月 0.3%/2.7%	0.2%/2.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.00-153.00	1.0480-1.0570	159.40-161.00

【マーケット・インプレッション】

前日のドル円はドル買いが優勢となった。18日-19日の日銀金融政策決定会合で利上げ期待が25%程度まで後退した事や、本日発表される米11月CPI前のポジション調整の動きから一時11月27日以来の152円台に上昇した。本日の注目は米11月CPI(消費者物価指数)の発表である。6日の米11月雇用統計の結果も受け足許では25bpの利下げ織り込みが85%程度まで進んでおり、米11月CPIへ注目が集まっている。米11月CPIは17日-18日のFOMC直前で米国の物価を確認できる最後の経済指標であり、市場予想通りもしくは市場予想を下回る結果となれば、12月利下げを完全に織り込みドル安となるだろう。ただし結果が市場予想を上振れれば、25bpの利下げ織り込みが一気に剥落する可能性もあり急激なドル買いに警戒したい。

東京	東京時間のドル円は151.39レベルでオープン。序盤は前日からの円売り地合いを引き継ぐ展開に。また五・十日に伴う実需のドル買いもみられ、仲値直後に高値151.55を付ける。その後は上昇が一服し、終盤にかけて軟調に推移すると、結局151.12レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.12レベルでオープン。明日に米11月CPIを控え、特段の材料がない中、米金利の上昇を伴って151.80まで上昇。大きく調整することなく151.79レベルでNYに渡った。ユードルは、1.0565レベルでオープン。ECB政策金利発表を今週後半に控え、ユーロ売りポント買いが加速、全体的にドル買いの中、対ドルでも弱含み1.0521に低下。結局、1.0531レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円台前半でスタート。150.90まで下落する場面もあったが、その後は米金利の上昇や日経平均株価が反発する展開を背景に151.80付近まで値を戻し、その後151.79レベルでNYオープン。朝方に発表された米第3四半期単位人件費が予想を下回ると、日中安値の151.55まで売られる。しかし、その後は米金利が上昇幅を拡大する動きを受け再度買いが優勢となり、152.18まで上値を伸ばす。午後は買い一巡となり、151.90付近まで反落。その後は注目の米11月CPIの結果発表を明日に控え、次第に小動きとなり、151.98レベルでクロス。一方、海外市場のユードルは1.05台半ばでスタート。独金利の低下が重しとなり、じり安での推移が続く。1.0531レベルでNYオープン。午前中は手がかりが乏しい中、米金利の上昇が一段の重しとなり、一時1.05台を割り込み、1.0499まで下落。午後は下げ渋り、1.0530付近まで反発し、1.0528レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。